

デンカの軌跡

～社会発展への貢献～

デンカは1915年の設立以来、化学を通じて、社会に必要とされる価値をどれだけ生み出せるかというテーマに向き合ってきました。これまでのデンカの企業価値創造の軌跡について、6つの時代とポートフォリオの変革を通じてご紹介します。

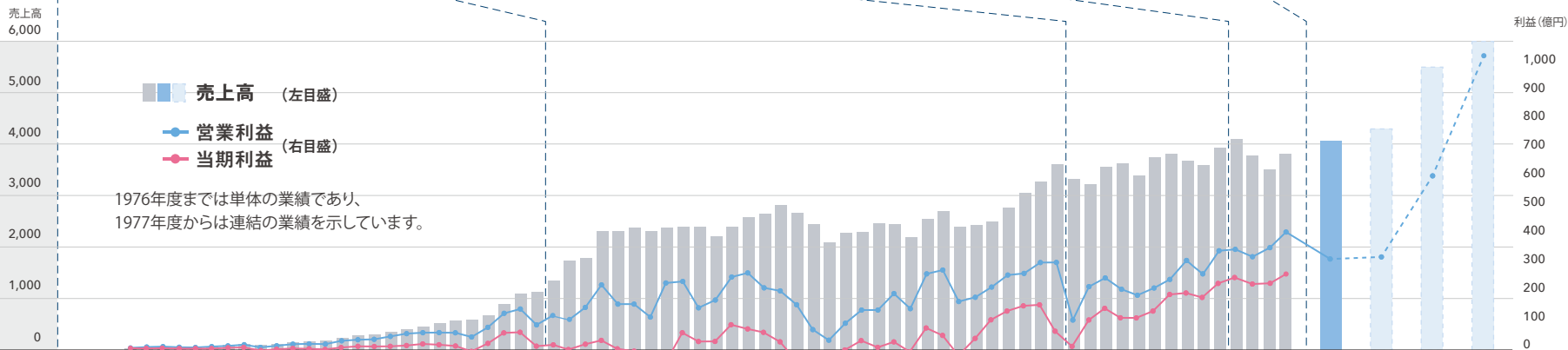
創業	転換点	転換点	転換点	転換点	現在
<p>創業期 1915-1944</p> <p>食糧問題解決に貢献</p>   <p>2度の世界大戦などの激動の時代において、度重なる経営危機を乗り越え、石灰窒素肥料の安定生産に努め、日本の農産物生産を支え続けました。また、電力供給安定のために自社水力発電の稼働を開始しました。</p>	<p>基盤事業拡大期 1945-1974</p> <p>高度経済成長を支える技術</p>   <p>第二次世界大戦後の復興とその後の高度経済成長期において、カーバイドアセチレン化学や無機化学に基づく諸種の化学工業製品、さらにはセメント・特殊混和材製品を通じて、需要拡大が続く社会からの要請に応えました。</p>	<p>スペシャルティ事業拡大期 1975-2006</p> <p>石油化学と医療分野へ展開</p>   <p>プラスチック製品の機能性向上への高まる期待に応えるため、原料の精密合成から樹脂加工成型に至るグループの技術力を結集した製品開発を行いました。また、ワクチン・検査試薬を通じて、様々な感染症の予防と早期診断・拡大防止へ取り組みました。</p>	<p>強いものをより強く 2007-2017 Denka100</p> <p>機能性セラミックスへの進出</p>   <p>祖業のカーバイド生産で培った超高温制御技術は、アセチレンブラックから無機系粉体まで、様々な新規素材を生み出しました。さらに金属やポリマーとの複合技術は、鉄道、自動車、通信機器の熱対策などの技術革新を支えました。</p>	<p>Specialty-Fusion Companyに向けて 2018-2022 Denka Value-Up</p> <p>際立つ独自性で社会の持続的発展へ貢献</p>  <p>環境・エネルギー ・高速データ通信 (5G) ・自動車の電動化 (xEV) ・再生可能エネルギー</p>  <p>ヘルスケア ・新たな予防・診断技術開発 ・新たな治療法</p>  <p>高付加価値インフラ ・強靱なインフラの整備 ・補修や長寿命化</p>	<p>2023-2030 Mission 2030</p> <p>化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる</p> <p>ICT & Energy</p> <p>【方針】 最先端素材を供給し、より良い社会を目指す</p> <p>【分野】 次世代高速通信、xEV・再生可能エネルギー</p> <p>Healthcare</p> <p>【方針】 予防・診断・治療の領域で世界の人々のQOL向上に貢献する</p> <p>【分野】 医療</p> <p>Sustainable Living</p> <p>【方針】 安全・安心・快適な日々の暮らしの実現を目指す</p> <p>【分野】 食糧・インフラ・生活用品</p> <p>カーボンニュートラルの実現</p>  <p>低炭素アセチレンチェーンの確立を含むポートフォリオ変革の推進</p> <p>CO₂分離・回収・利用技術の開発と実装化</p> <p>水力発電増強、太陽光発電所新設によるグリーンエネルギーの拡大</p> <p>サステナブルな都市と暮らしの充実</p>  <p>スチレン系包装材料のサーキュラーエコノミー推進</p> <p>CO₂コンクリート固定化技術の確立</p> <p>環境の保全・環境負荷の最小化</p>  <p>廃棄物ゼロエミッション継続</p> <p>自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)に基づく生物多様性・水資源保全などの自然関連リスクへの対応</p>

社会の変化

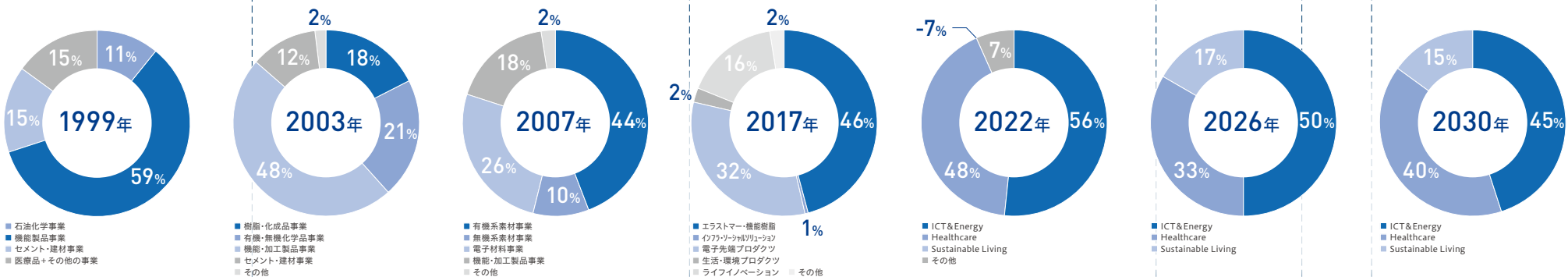
不安定な世界情勢	高度経済成長期	グローバル化・IT化の加速	サステナブル社会へ
<ul style="list-style-type: none"> ●～1918年 第一次世界大戦 ●1929年～ 世界恐慌 ●1939年～ 第二次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> ●1955年 全国の高速度道路建設開始 (中央、東北自動車道等) ●1964年 東海道新幹線開通 ●1971年 ドル・ショック 	<ul style="list-style-type: none"> ●1973年 第一次オイルショック ●1979年 第二次オイルショック ●1990年 冷戦終結、インターネットの普及 ●1991年 バブル崩壊 ●1993年 EU誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ●2008年 リーマンショック ●2011年 東日本大震災 ●2015年 SDGs、パリ協定の採択 ●2019年 COVID-19の流行 ●2022年 ロシアのウクライナ侵攻 ●2022年11月 世界人口80億人突破 ●2023年2月 トルコ・シリア大地震 ●2023年5月 G7広島サミット開催 ●2023年5月 COVID-19[5類感染症]に移行



業績の推移 (単位:億円)

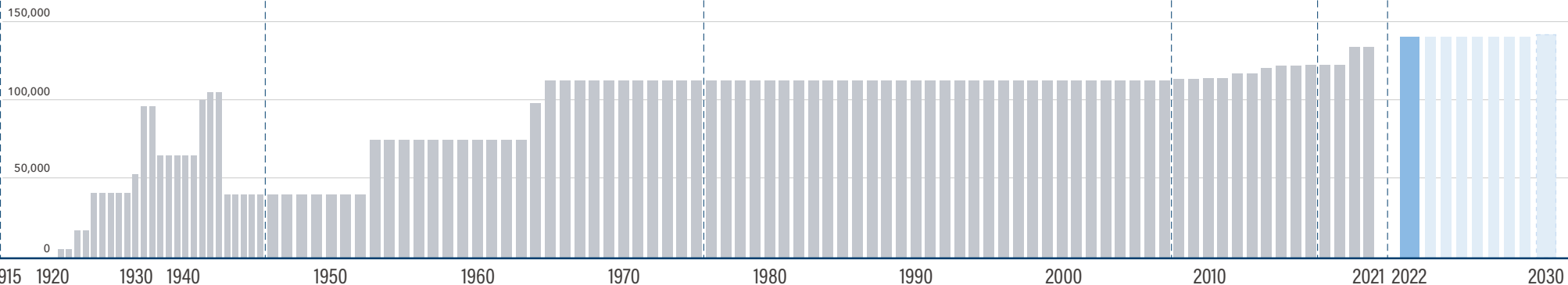


コア事業の推移(営業利益額の割合)



水力発電所最大出力推移(共同出資会社を含む) (単位:kW)

1915年の会社設立当時から積極的に水力発電所の建設を行い、再生可能エネルギーを活用したものづくりに取り組んでいます。



※1933年から、黒部川電力の発電出力を出資比率(当社50%)に応じて計上しています。2022年の発電能力は、黒部川電力の新姫川第六発電所の稼働開始により合計14万kWとなります。